

平成 25 年 8 月 2 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 愛知県立時習館高等学校 金子 陽介
2. 講師氏名: Arnout Richard Dominiek VOET
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成25年8月2日(金) 10:00~12:00
5. 参加生徒: 1年生 6人、 2年生 25人、 ___年生 ___人 (合計 31人)
備考: (例:理数科の生徒)
6. 講演題目: (英文)
(和文) SUMO:SBM のタンパク質 - タンパク質相互作用阻害剤の発見
7. 講演概要: ベルギー人の講師が科学者を目指し、理化学研究所の研究員になるまでの経歴。新薬開発までの長いプロセスと、そこに関わる幅広い分野の科学者の役割について。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 40 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者および本校英語科教員によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師から事前に戴いた、講義のアブストラクト
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: